

	12月累計	4月～11月
組合員ふやし	125人	949人
出資金ふやし	1,113万円	8,940万円
純増	610万円	1,306万円

## 基町ステーション 18年間ありがとう！

12月24日、中区北支部の主催で訪問看護ステーション基町のご苦労さん会を開催しました。訪問看護ステーション基町は、1998年8月、高齢化する地元住民の熱い思いと運動によって基町の公営住宅の中に開所しました。これはとても画期的なことで、全国からの視察の対応にも追われたそうです。



会には元スタッフ、利用されていたご家族、支部役員、生協関係者など18名の参加がありました。それぞれの思い出や苦労話、裏話など当時を懐かしみました。

支部では基町ステーションの跡地の利用について議論していく中で、「地域の高齢者が気軽に集える場」に対するニーズの高さを改めて認識しました。事務所は12月末で広島市に返還となりますが、中央公民館などを使った「つどい場」について支部で検討しているところです。

## 広島県に「けんこうチャレンジ2016」の発展・実施報告

12月26日、けんこうチャレンジの取り組み報告と次年度の相談のため、広島県健康福祉局地域包括ケア・高齢者支援課を県生協連の福島事務局長と田中組織部長が訪問しました。

渡辺健康長寿担当監が熱心に話を聞いていただき、次年度はさらに広がるように期待していますと激励をいただきました。また、広島県は「(仮称)ひろしまヘルスケアポイント」制度を検討準備していらっしゃいましたが、協賛店の募集を始めておられて、いよいよ2017年3月からスタートの予定である旨をご紹介いただきました。健康づくりの活動に参加するとポイントが獲得できて、協賛店で割引や景品などが受け取れるという仕組みとなるようです。



生協が行っている「けんこうチャレンジ」参加もポイントが獲得できるようにしますと、この度改めてお返事いただきました。2017年度のパンフレットにはその旨明記できるように相談を始めます。

最後に、『医療福祉生協の健康習慣』の冊子を進呈し、医療福祉生協の8つの生活習慣について懇談となりました。

協同組合がよりよい社会を築きます



広島中央保健生活協同組合